

# 食育だより

保護者様用

# 給食だより

児童用

日立木幼稚園・小学校  
令和4年2月4日

## 1月24日～30日は学校給食週間でした。

日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町の小学校で始まりまし。その後、全国に広まり実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で中止せざるを得なくなった時期がありました。やがて、戦争が終わり、明治21年12月24日に東京、神奈川、千葉の3都県の学校で試験給食が実施されました。それ以来、12月24日を学校給食感謝の日と定めていましたが、冬休みと重なるため、1月24日から30日までの一週間が「全国学校給食週間」となりました。また、農林水産省では毎年一月を「食を考える月間」としています。

今年は学校給食週間に合わせて、会津・中通り・相馬の献立給食を実施しました。子どもたちは、それぞれの地域で食べられている給食を味わっていました。



1月24日(月)  
～日本で初めての給食献立～  
ゆかりごはん 牛乳  
大根の漬物 鮭の塩焼き  
すいとん汁

1月25日(火)  
～そうま(相馬)うまうま献立～  
たこ飯 牛乳 磯和え  
相馬風豚汁

1月26日(水)  
～会津の郷土料理～  
麦ご飯 牛乳 こづゆ  
鶏肉のから揚げ  
ほうれん草のおひたし

## 豆まき集会を行いました

2月3日の節分に合わせ、一人ひとりが追い出したい鬼、招きたい福の神を発表し、元気いっぱい豆まきをしました。また、魔除け・鬼除けとして平安時代から風習のあるひいらぎいわしを幼稚園、小学校の各教室に飾りました。各ご家庭でも、追い出したい鬼、招きたい福の神について、ぜひ話題にさせていただけたらと思います。



1月に行われた学校給食週間の給食はおいしかったですか？福島県には、それぞれの地域の特産品を活かしたおいしい料理がたくさんあります。料理から日本、世界に目を向けてみるのもおもしろいかもしれませんね。さて2月号では、「給食のうつりかわり」と「節分」についてです。今月も、好き嫌いせずたくさん食べて、病気にかけにくい体づくりをしましょう！

## 学校給食のうつりかわり

※ 献立の内容は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの献立レプリカ参考

明治22年	明治22年	昭和25年	昭和40年	昭和52年
おにぎり・塩さけ・漬物	すいとん汁・脱脂粉乳	コッパン・脱脂粉乳・ポタージュ・スープ・コロック・ケ・キャベツ・マーガリン	ソフトめんのカレーあんかけ・甘酢和え・くだもの・チーズ・牛乳	カレーライス・塩もみ野菜・スープ・くだもの・牛乳

## 脱脂粉乳とは

脱脂粉乳は、牛乳の脂肪分を除き、乾燥させて粉にしたものです。現在も「スキムミルク」として販売されています。学校給食は戦争で一時中断となりましたが、太平洋戦争後、食料不足で苦しむ子どもたちのためにアメリカなどからの脱脂粉乳などの援助物資を受けて再開することができました。

牛乳は、昭和40年ごろから給食につくようになったんだね！

## 2月3日は節分！「鬼は外！福はうち！」

節分とは、もともと立春、立夏、立秋、立冬の前の日のことで、季節が変わる節目の日です。現在は立春の前の日だけになりました。節分には豆まきをします。災いや病気を鬼に見立てて、豆をまくことで追い払い、福を呼び込みます。「鬼は外、福は内」のかけ声で豆まきをしますが、この時のかけ声は、地域によって違いがあります。おうちでも豆まきしましたか？

## 「ひいらぎいわし」ってなに？

みなさんは、ひいらぎいわしを知っていますか？左の写真のように、ひいらぎにいわしの頭を刺したもののことです。ひいらぎいわしとは、節分に魔除けや厄除けを目的に玄関などに飾られます。トゲトゲしたひいらぎの葉といわしのおいさを鬼は嫌うそうです。今年は、年男、年女の5年生に各学級へ飾ってもらいました。みんなで一年の健康を願いましょう。

